

# 広報 あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004  
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口	
人口	9,426人 (増15)
男	4,507人 (増10)
女	4,919人 (増5)
世帯数	2,950世帯 (増8)
出生	6人
転入	51人
死亡	3人
転出	39人
(53年10月末日現在)	

( )内は前月との増減

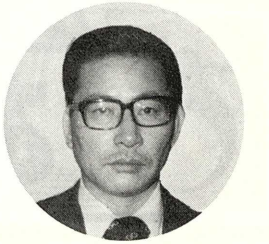


新春あけまして  
おめでとうございます

### '79 Calendar

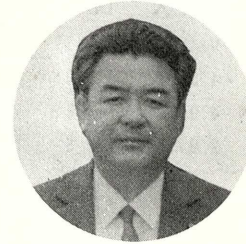


日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
1 . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . .	4 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 . . . . .	7 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . . . .	10 . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . .
2 . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 . . .	5 . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . .	8 . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 . . .	11 . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 .
3 . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6 . . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	9 . . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29	12 . . . . . 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29



町長池永輝昭

# 年頭のごあいさつ



町議会議員 早麻 豊

## きめ細かな住みよい環境づくりをめざす

明けましておめでとうございませう。輝かしい昭和五十四年の新春を迎え、みなさまのご健康を心からお祝い申し上げますとともに、平素からの町政に対するご理解とご支援に対し、深く感謝申し上げます。

おかげをもちまして、みなさま方のご協力のもとに、まちづくりの基礎となる道路や排水路、集会所、野球場、陸上競技場、さらには同和対策事業による中央研修所、上野焼大型作業場、大浦隣保館、市場保育所等の建設、又四月

完成予定の上野橋架設工事などの諸事業も順調に進捗してまいりました。

今年も本町にとっては、また一段ときびしい経費節減の年になることが予想されます。赤字解消と健全財政を堅持し、住民生活の安定を旨とすることを柱として、財源確保に最大の努力をほらいたいと存じます。

いま昭和五十四年の年頭にあたり、過去つとめてまいりました町基盤の整備を集大成するとともに、緊要、開就、特開、失対事業等の

強化、ボタ山災害防止工事、道路や排水路の整備、集会所の建設など引き続き積極的に推進してまいり、決意を新たにしている次第であります。また、これとあわせて住民生活に直結したきめ細かい施策、すなわち、住みよい環境づくりや教育施設の充実、さらには社会福祉、同和対策事業などの充実を念願して懸命に取り組んでまいり所存であります。

町民のみならず、どうか本年も町政に対し倍旧のご協力を賜わりますようお願いいたしますとともに、みなさまがたのご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

任務に向って最後まで邁進いたす所存でございます。

地方自治が民主主義の大きな土台であることは、昔も今も変わりないと思っております。住民の生活が豊かになるよう努力するのが我々の責務であると認識し、今年も議会制民主主義をフルに発揮して、住民福祉の増進と住民生活の安定をはかることに最大の努力を払う所存であります。

今後とも町民のみならず、ご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

## あけましておめでとうございます

赤池町役場  
赤池町教育委員会  
赤池町選挙管理委員会

赤池町議会  
赤池町農業委員会

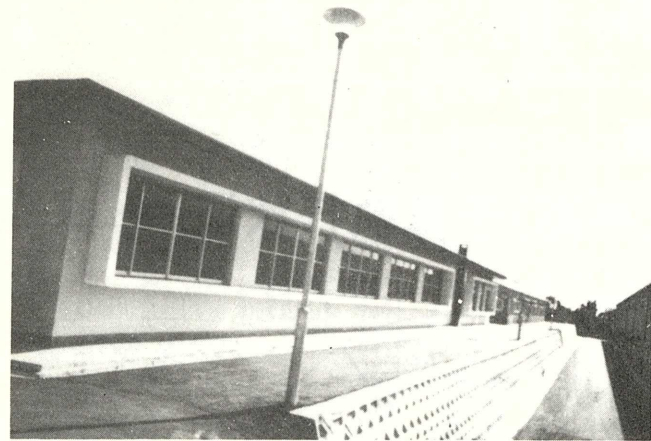
## 上野焼大型作業場

### いよいよ一月よりスタート

#### Ⅱ 失業者の独立手助け Ⅱ

赤池町が同和対策事業の一環として、五十一年から三十二年継続事業で同町天郷地区に建設していた「赤池町上野焼大型作業場」が十二月五日完成、いよいよ一月から訓練生五十人でスタートします。

同作業場は、地場産業の上野焼の特色を生かした陶板タイルを生産するほか、訓練生の将来の独立に備え、茶器や花器、つばなどを



(12月5日完成の上野焼大型作業場・右側が工場)

作れるよう、陶芸の基礎技術を身につけさせることにしています。訓練希望者を募集したところ、町内全域から最高六十六歳から十九歳まで八十二人(男四十八人、女三十四人)の申し込みがありました。当初は、陶器科十人、陶板タイル科四十人で発足しますが、訓練生は県から委嘱された指導員から指導を受けます。訓練期間中(一年三ヵ月)は毎月約六万円程度の手当が支給されます。

作業場は事務室、研修室があり鉄筋平屋建て(四四二平方メートル)、倉庫と訓練生の休憩所、浴室があります。鉄骨スレート張りB棟(四八三平方メートル)縦百三十センチ、横四十センチの鉄骨スレート張り工場棟(一、六三五平方メートル)の三棟で、すでに作業場にはロクロ二十台、土こね機、タイル製造機なども据え付けられ、いよいよスタートを待つばかりです。



## 奉仕とふるさとづくり

### 町商工会青婦人部

十一月十九日(日)、赤池町商工会青年部約三十人(立花昇部長)、婦人部約二十人(藤重喜巳部長)により上野焼のベンチ付けや附近の清掃が行われました。自分の住む地区は自分の手でというものの、折角の休みに奉仕作業はなかなか出来ないものです。観光シーズンの夏も終わり、登山、キャンプ等できわつた上野峡には、沢山の空かんやピン、又生い茂った草木などがいっぱいあります。町商工会青婦人部約五十人の皆さんのお陰によりまして上野峡は美しく又明るくなりました。



(上野焼の清掃風景より)

## ☆ 今月のこよみと行事

- 和名 睦月(むつき)
  - 年のはじめに家庭や多くの人がとが、互いに睦みあいをかさねることを略したもの。
  - 1日(月) 元旦、初もつで、年賀
  - 2日(火) 初夢、初荷、書初め、皇居一般参賀、休刊日
  - 4日(木) 官庁ご用始め
  - 6日(土) 小寒、消防出初式
  - 7日(日) 心配ごと相談日(七草)
  - 8日(月) 学級始業
  - 10日(水) 十日えびす、国際連盟成立する
  - 11日(木) 鏡開き、蔵開き
  - 14日(日) 大相撲初場所
  - 15日(月) 成人の日、小正月
  - お年玉つき年賀はがき抽せん会
  - 16日(火) やぶ入り
  - 17日(水) 心配ごと相談日(福祉)
  - 18日(木) 土用
  - 20日(土) 二十日正月
  - 21日(日) 大寒、初大師
  - 26日(金) 文化財防火デー
  - 27日(土) 心配ごと相談日(福祉)
  - 国旗制定記念日
- ▽目標のない人生は暗い  
目標に向かって前進せよ△

### 昭和52年度一般会計款別歳入歳出決算状況

(歳入)				(歳出)					
区	分	予算額	決算額	決算額 構成比	区	分	予算額	決算額	決算額 構成比
1.	町税	139,983	139,436	3.7	1.	議会費	45,459	45,387	1.2
2.	地方譲与税	12,947	14,093	0.4	2.	総務費	262,844	259,710	6.9
3.	娯楽施設利用税交付金	597	513	-	3.	民生費	949,464	927,996	24.7
4.	自動車取得交付金	14,635	14,323	0.4	4.	衛生費	78,112	68,988	1.8
5.	地方交付税	1,047,973	984,559	26.3	5.	労働費	631,528	613,586	16.3
6.	交通安全対策特別交付金	740	697	-	6.	農林水産業費	185,900	181,622	4.8
7.	分担金及び負担金	53,040	52,924	1.4	7.	商工費	10,184	9,984	0.3
8.	使用料	16,056	15,530	0.4	8.	土木費	493,766	455,172	12.1
9.	手数料	1,234	1,434	-	9.	消防費	42,670	42,358	1.1
10.	国庫支出金	898,959	825,590	22.1	10.	教育費	305,973	292,446	7.8
11.	県支出金	519,754	497,192	13.3	11.	災害復旧費	308,282	307,655	8.2
12.	財産収入	2,226	2,063	0.1	12.	公債費	261,463	261,463	7.0
13.	寄付金	20,001	0	-	13.	諸支出金	242,037	229,154	6.1
14.	繰入金	1,000	0	-	14.	予備費	3,516	0	-
15.	繰越金	1,000	0	-	15.	前年度繰上充用金	70,000	63,428	1.7
16.	諸収入	115,151	50,956	1.4					
17.	地方債	1,047,900	1,142,200	30.5					
合	計	3,893,196	3,741,510	100.0	合	計	3,891,198	3,758,949	100.0

昭和五十二年事業の主なものは次のとおり……

◎事業費総額二十二億九千九百二十九万七千円(構成比61.1%)

▼一般公共事業(九億六千九百三十五万七千円)

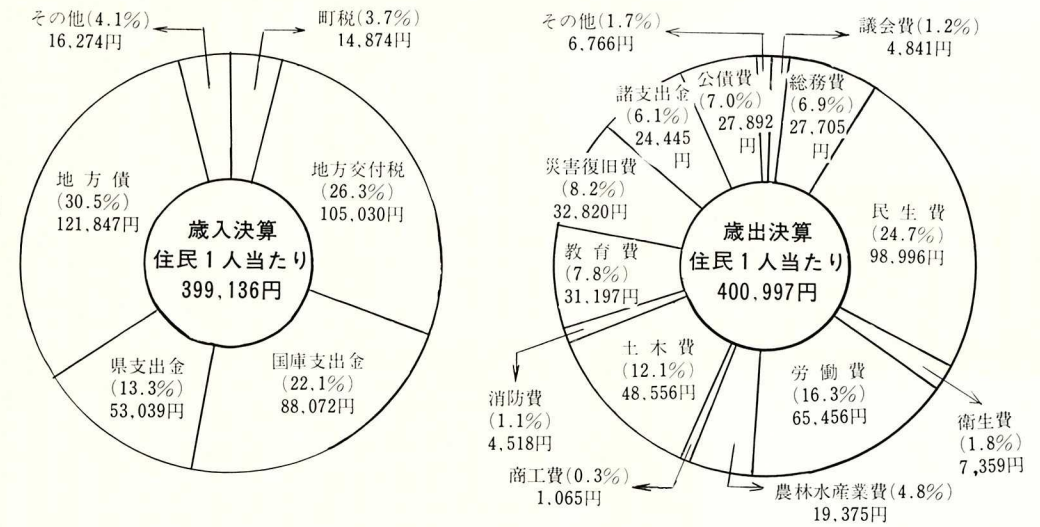
- ※ボタ山災害防止工事 ※鉱害復旧(下水道)工事 ※一般失業対策事業 ※炭鉱離職者緊急就労対策事業 ※産炭地域開発就労事業 ※特定地域開発就労事業
- ▼一般単独(下排水路)事業(一千六十七万九千円)
- ▼過疎対策事業(道路、集会所)(一億二千四百五十四万九千円)
- ▼厚生福祉施設整備事業(野球場、陸上競技場)(一千六百二十二万円)
- ▼公共用地先行取得事業(一億六千六百五十一万一千円)
- ▼同和対策事業(十億九千九百九十九万九千九百九十九円)
- ※道路改良舗装工事 ※上野橋架設工事(昭和五十四年四月完成予定) ※大浦隣保館建設工事 ※大型共同作業所建設工事(昭和五十三年十二月完成) ※同和対策中央研修所建設工事(昭和五十三年十一月完成) ※下排水工事 ※市場保育所建設工事 ※地区総合整備事業
- ▼農業振興同和対策事業(二億一千五百九十三万六千円)
- ※農道 ※かんがい施設工事 ※農機具購入 ※住宅用地造成工事 ※その他(防火水槽、街灯、グラウンド、墓地整備等)
- ▼その他事業(五百九十九万七千円)

### 昭和52年度特別会計決算状況

区	分	歳入			歳出			歳入歳出 差引額
		予算額	決算額	比率	予算額	決算額	比率	
町立病院事業		358,749	361,756	100.8	358,749	384,640	107.2	△ 22,884
上水道事業		94,548	61,259	64.8	94,548	102,529	108.4	△ 41,270
国民健康保険事業		178,573	178,435	99.9	178,573	176,121	98.6	2,314
赤池橋架設準備積立金		771	737	95.5	771	737	95.5	0
上野簡易水道事業		17,876	14,969	83.7	17,876	14,217	79.5	752
住宅改修資金貸付事業		33,775	34,033	100.7	33,775	32,531	96.3	1,502
地域開発事業		139,864	139,840	99.9	139,864	139,840	98.0	0

## 財政事情公表

### 昭和52年度決算 昭和53年度(上半期)予算執行状況



(注) 人口は、住民基本台帳人口とし、昭和53年3月31日現在の9,374人を用いた。

以上の結果、昭和53年度一般会計歳出予算の昭和53年9月末日における歳出総額に対する同日現在の支出済額 1,115,950千円の執行率は24.5%となっております。

### 昭和53年度一般会計予算執行状況 (S53. 9. 30)

(歳入)				(歳出)						
区	分	予算額	収入済額	構成費	区	分	予算額	支出済額	構成比	
1.	町税	146,503	74,078	50.6	1.	議会費	45,223	21,054	45.5	
2.	地方譲与税	12,547	3,569	28.4	2.	総務費	219,535	112,643	47.1	
3.	娯楽施設利用税交付金	517	174	33.7	3.	民生費	692,371	233,815	26.8	
4.	自動車取得税交付金	14,665	5,761	39.3	4.	衛生費	81,218	41,012	48.4	
5.	地方交付税	1,167,707	714,152	56.5	5.	労働費	623,392	190,239	29.3	
6.	交通安全対策特別交付金	800	0	-	6.	農林水産業費	269,808	56,595	20.5	
7.	分担金及び負担金	55,914	23,859	42.7	7.	商工費	13,249	9,319	62.1	
8.	使用料及び手数料	17,640	7,457	42.3	8.	土木費	781,132	69,587	6.8	
9.	国庫支出金	1,088,809	252,988	20.8	9.	消防費	39,515	24,275	51.3	
10.	県支出金	345,937	28,277	4.8	10.	教育費	491,051	121,408	19.3	
11.	財産収入	2,056	911	44.3	11.	災害復旧費	10,561	5,447	2.2	
12.	寄付金	1	0	-	12.	公債費	292,792	173,428	59.2	
13.	繰入金	1	0	-	13.	諸支出金	77,831	39,689	50.3	
14.	繰越金	1	0	-	14.	予備費	2,000	0	-	
15.	諸収入	55,880	18,005	16.9	15.	繰上充用金	0	17,439	34.9	
16.	町債	730,700	0	-						
17.	合	計	3,639,678	1,129,231	24.8	合	計	3,639,678	1,115,950	24.5

町民負担の状況等

昭和五十二年一般会計歳入、歳出の住民一人当たり額は、歳入三十九万九千三百六十六円、歳出四十九万九千七百七十四円となり、図示すると次のとおりであります。